



平成27年度 2級舗装施工管理技術者試験 〔一般試験〕解答試案

問	解答	ポイント解説
1	4	飽和砂質土の液状化を防止する工法
2	1	変形、流動に対する抵抗性を表す
3	4	種別SPを適用
4	1	締固めはタイヤローラ、振動ローラ等
5	4	植栽地は弱酸性が望ましい
6	2	(1)受注者が負担(3)兼務することが出来る(4)発注者に返納する
7	2	構造設計、路面設計に先立って設定
8	3	アスファルト舗装の設計方法(TA法)
9	2	天然の硬質骨材の説明
10	3	針入度で分類
11	4	安定度、フロー値、空隙率
12	4	摩耗抵抗性に優れる
13	4	アスファルト混合物の配合設計
14	2	アスファルト量が少ないため
15	2	軽油や付着防止剤を薄く塗布
16	2	タイヤローラによる2次転圧
17	3	ロードローラを使用
18	2	後期養生に比べ、養生効果は小さいので、12h程度で切り上げる
19	4	タイヤローラで仕上げ転圧を行う
20	1	流し込み施工のため、転圧は行わない
21	3	表面仕上げ機(レベリングフィニッシャ)
22	1	路床・路盤の支持力低下等が原因
23	4	シール材注入工法の説明
24	3	(1)路上破碎混合機(2)リミキサ(4)マイクロサーフェッシングペーパー
25	3	設計変更は、発注者が受注者と協議のうえ行う
26	1	産業廃棄物の種類毎、運搬先毎に交付
27	3	ネットワーク式工程表の説明
28	3	工種別編成の説明
29	3	埋設物管理者に報告し、対応を協議
30	2	道路管理者及び所轄警察署長の指示により設置

問	解答	ポイント解説
31	3	切取り供試体による密度試験
32	1	(2)(3)(4)にはいずれも発注者が定める合格判定値が含まれる
33	4	個々の測定値は10個に9個以上、及び10箇の平均値が合格判定値以内
34	1	ベンケルマンビーム、FWD等
35	3	(1)その後30日間(2)休憩時間を除き(4)臨時の賃金はこの限りではない
36	3	元請で、総額3,000万円以上の下請契約を行う場合は特定建設業の許可
37	1	公衆電話所は含まれない
38	1	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音は環境基準が定められている
39	1	敷地の境界線において85デシベル
40	4	土砂、コンクリート塊、Asコンクリート塊、建設発生木材の4つが指定副産物



平成27年度 2級舗装施工管理技術者試験 〔応用試験〕 解答試案

問1. 経験記述

省略

問2. 舗装の設計

①	疲労破壊
②	大型
③	曲げ
④	半たわみ性舗装
⑤	縦断

問3. アスファルト舗装用材料

①	生石灰
②	タックコート
③	一軸圧縮強さ
④	60
⑤	修正

問4. アスファルト舗装の施工

①	15
②	振動ローラ
③	駆動輪
④	高過ぎる
⑤	ヘアクラック

問5. 舗装の破損と補修工法

①	骨材飛散
②	コルゲーション
③	シーリング
④	平坦性
⑤	中温化技術